

「国際アーカイブズの日」記念
公開講演会

村から捉える

〈明治維新〉

—地域史料活用の可能性—

平成30年

5月17日(木)

14時～16時

この公開講演会は6月9日の「国際アーカイブズの日」(2008年、国際文書館評議会(ICA)が制定)を記念し、公文書や古文書などの記録史料(=アーカイブズ)の大切さを広く県民の皆様にご存知いただくために開催しています。

平成30年度は、近世・近代移行期の村と村人の歴史に関する研究を進められている一橋大学大学院社会学研究科教授の渡辺尚志氏を講師にお招きし、各地で保存されている地域史料を用いた研究成果と、そこから明らかになる〈明治維新〉像について御講演いただきます。

講師

一橋大学大学院社会学研究科

教授 **渡辺 尚志 氏**



会場

朝霞市産業文化センター 多目的ホール
埼玉県朝霞市大字浜崎669-1 TEL: 048-487-6222



交通

東武東上線朝霞台駅・JR武蔵野線北朝霞駅下車徒歩5分
公共交通機関を御利用下さい。

定員

先着80名

(4月20日(金)から電話受付開始)

対象

どなたでも参加できます

参加費

無料

「国際アーカイブズの日」とは

アーカイブズは、官庁や企業などの団体、あるいは個人が残した歴史的文化的に重要な記録・文書のことです。その保存公開施設(文書館など)の意味にも使います。アーカイブズの国際組織であるICA(国際文書館評議会)は、世界中にアーカイブズの大切さを広く伝えるため、毎年6月9日を「国際アーカイブズの日」と定めています。今年テーマを「Archives: Governance, Memory and Heritage(アーカイブズーガバナンス、記憶、遺産)」とし、各国で様々な関連行事が開催されます。

お申込み・お問合せは、電話で埼玉県立文書館へ

TEL 048-865-0112